

当別町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）改訂（案）（新旧対照表）

《主な改訂箇所》

項目・ページ	【改正後】	【改正前】	備考
【3-1総合戦略（第2期）の概要】 p.34	（１）策定にあたって （省略） （２）戦略期間 ▶2020 年度（令和 2 年度）～ <u>2026</u> 年度（令和 <u>8</u> 年度）の <u>7</u> 年間とします。 （３）目標とする定住人口 （省略） （４）総合戦略の改訂について 新型コロナウイルス感染症の拡大により 2020 年（令和 2 年）以降、社会の大きな変化に伴い、緊急経済対策として実施された特別定額給付金の給付遅れや押印のための出勤など、官民間わず、様々な分野で DX に関する課題が浮き彫りになりました。 このような背景から、「全ての国民がデジタル技術とデータ活用の恩恵を享受し、安心して豊かな暮らしを実感できるデジタル社会の実現に向けた政府全体のデジタル戦略」として、2020 年（令和 2 年）7 月に「世界最先端デジタル国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画」が閣議決定され、2021 年（令和 3 年）5 月には「デジタル改革関連法」として、「デジタル社会形成基本法」「デジタル庁設置法」「デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律」など 6 つの法律が公布されました。これらの法律では、デジタル社会の形成による日本経済の持続的かつ健全な発展と国民の幸福な生活の実現などを目的としており、「デジタル社会に必要な機能の整備と普及」を実現するための横断的な組織として、2021 年（令和 3 年）9 月に「デジタル庁」が発足し、2022 年（令和 4 年）6 月に	（１）策定にあたって （省略） （２）戦略期間 ▶2020 年度（令和 2 年度）～ <u>2024</u> 年度（令和 <u>6</u> 年度）の <u>5</u> 年間とします。 （３）目標とする定住人口 （省略） （４）総合戦略の改訂について 新型コロナウイルス感染症の拡大により 2020 年（令和 2 年）以降、社会の大きな変化に伴い、緊急経済対策として実施された特別定額給付金の給付遅れや押印のための出勤など、官民間わず、様々な分野で DX に関する課題が浮き彫りになりました。 このような背景から、「全ての国民がデジタル技術とデータ活用の恩恵を享受し、安心して豊かな暮らしを実感できるデジタル社会の実現に向けた政府全体のデジタル戦略」として、2020 年（令和 2 年）7 月に「世界最先端デジタル国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画」が閣議決定され、2021 年（令和 3 年）5 月には「デジタル改革関連法」として、「デジタル社会形成基本法」「デジタル庁設置法」「デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律」など 6 つの法律が公布されました。これらの法律では、デジタル社会の形成による日本経済の持続的かつ健全な発展と国民の幸福な生活の実現などを目的としており、「デジタル社会に必要な機能の整備と普及」を実現するための横断的な組織として、2021 年（令和 3 年）9 月に「デジタル庁」が発足し、2022 年（令和 4 年）6 月に	(2)戦略期間の延長に伴う修正

項目・ページ	【改正後】	【改正前】	備考																																
(続き) p.34 p.35	は「デジタル田園都市国家構想基本方針」が閣議決定され<u>ました</u>。 これらの動向を踏まえ、デジタルがもたらす今後の大きな社会変革を見据えて、デジタル技術を有効なツールとした施策を展開し、デジタルによる課題解決を目指すべく、<u>令和5年3月に総合戦略の改訂を行いました</u>。 <u>また、これまで50年に渡り町と一緒にまちづくりを進めてきました「北海道医療大学」が令和10年4月をもって移転することに伴い、まちづくりの在り方について大きな影響が見込まれ、その方向性について見直す必要性が生じてまいりました</u>。 <u>このようなことから、長期的な展望に立った総合的かつ計画的なまちづくりを進めるため、令和9年度を始期とする新たな総合計画および総合戦略の策定に向けて取り組むことから、現在の総合戦略の戦略期間を令和8年度まで延長すべく、改訂を行うものです</u>。	は「デジタル田園都市国家構想基本方針」が閣議決定され<u>ています</u>。 <u>今回、</u>これらの動向を踏まえ、デジタルがもたらす今後の大きな社会変革を見据えて、デジタル技術を有効なツールとした施策を展開し、デジタルによる課題解決を目指すべく、総合戦略の改訂を行<u>うものです</u>。 _____ _____ _____ _____ _____ _____ _____ _____ _____ _____	(4)社会情勢の動向を受けての改訂理由を記載																																
【3-2戦略プラン（基本目標）の数値目標と推進プロジェクト】 p.37	戦略プランⅠ：産業力の強化 ～しごとの創生～ 【数値目標】 <table><tr><th>指標名</th><th>基準値 (2018年度)</th><th>戦略目標 (2026年度)</th><th>参考：第1期基準値 (2014年度)</th></tr><tr><td>町民所得(年間)</td><td>269.7万円</td><td><u>340.9</u>万円</td><td>260.7万円</td></tr></table> 戦略プランⅡ：人を呼び込むまちの再生 ～魅力の創生～ 【数値目標】 <table><tr><th>指標名</th><th>基準値 (2018年度)</th><th>戦略目標 (2026年度)</th><th>参考：第1期基準値 (2014年度)</th></tr><tr><td>転入者数(累計)</td><td>【2014～2018】 3,251人</td><td>【2020～<u>2026</u>】 <u>5,810</u>人</td><td>—</td></tr></table>	指標名	基準値 (2018年度)	戦略目標 (2026年度)	参考：第1期基準値 (2014年度)	町民所得(年間)	269.7万円	<u>340.9</u> 万円	260.7万円	指標名	基準値 (2018年度)	戦略目標 (2026年度)	参考：第1期基準値 (2014年度)	転入者数(累計)	【2014～2018】 3,251人	【2020～ <u>2026</u> 】 <u>5,810</u> 人	—	戦略プランⅠ：産業力の強化 ～しごとの創生～ 【数値目標】 <table><tr><th>指標名</th><th>基準値 (2018年度)</th><th>戦略目標 (2024年度)</th><th>参考：第1期基準値 (2014年度)</th></tr><tr><td>町民所得(年間)</td><td>269.7万円</td><td><u>282.1</u>万円</td><td>260.7万円</td></tr></table> 戦略プランⅡ：人を呼び込むまちの再生 ～魅力の創生～ 【数値目標】 <table><tr><th>指標名</th><th>基準値 (2018年度)</th><th>戦略目標 (2024年度)</th><th>参考：第1期基準値 (2014年度)</th></tr><tr><td>転入者数(累計)</td><td>【2014～2018】 3,251人</td><td>【2020～<u>2024</u>】 <u>4,150</u>人</td><td>—</td></tr></table>	指標名	基準値 (2018年度)	戦略目標 (2024年度)	参考：第1期基準値 (2014年度)	町民所得(年間)	269.7万円	<u>282.1</u> 万円	260.7万円	指標名	基準値 (2018年度)	戦略目標 (2024年度)	参考：第1期基準値 (2014年度)	転入者数(累計)	【2014～2018】 3,251人	【2020～ <u>2024</u> 】 <u>4,150</u> 人	—	戦略期間の延長に伴う修正 ※以下、年および年度表記については同様とする。 戦略目標を達成したため上方修正（R5実績325.7万円） 戦略期間の延長に伴う修正（R5実績2,909人）
指標名	基準値 (2018年度)	戦略目標 (2026年度)	参考：第1期基準値 (2014年度)																																
町民所得(年間)	269.7万円	<u>340.9</u> 万円	260.7万円																																
指標名	基準値 (2018年度)	戦略目標 (2026年度)	参考：第1期基準値 (2014年度)																																
転入者数(累計)	【2014～2018】 3,251人	【2020～ <u>2026</u> 】 <u>5,810</u> 人	—																																
指標名	基準値 (2018年度)	戦略目標 (2024年度)	参考：第1期基準値 (2014年度)																																
町民所得(年間)	269.7万円	<u>282.1</u> 万円	260.7万円																																
指標名	基準値 (2018年度)	戦略目標 (2024年度)	参考：第1期基準値 (2014年度)																																
転入者数(累計)	【2014～2018】 3,251人	【2020～ <u>2024</u> 】 <u>4,150</u> 人	—																																

項目・ページ	【改正後】	【改正前】	備考
【3-2戦略プラン（基本目標）の数値目標と推進プロジェクト】 			

項目・ページ	【改正後】	【改正前】	備考																
【3-3今後の事業展開と重要業績評価指標（KPI）の設定】 p.39	戦略プランⅠ：産業力の強化 ～しごとの創生～ （１）企業誘致推進プロジェクト （省略） ≪今後の事業展開≫ ■企業誘致に向けた都市計画の指定等を含めた土地利用の見直し ■企業誘致に向けたインフラの整備 ■地域再生法に基づく地方拠点強化税制の活用 ■地域未来投資促進法に基づく「北海道当別町基本計画」の推進 ■企業立地促進条例に基づく優遇制度を活用した企業誘致の推進 および既存企業への支援強化 ■テレワーク等による事業所誘致の推進 ■当別町・商工会・農協・金融機関が連携した「当別町企業誘致推進協議会」による誘致活動の促進 ■市街地への商業施設の集積等による都市機能のレベルアップ ■GX・DX 関連産業の誘致や拠点整備、人材育成の推進 ■<u>北海道医療大学の跡地利用への検討及び企業誘致</u> ≪重要業績評価指標（K P I）≫ <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th><th>基準値 (2018 年度)</th><th>戦略目標 (<u>2026</u> 年度)</th><th>参考：第 1 期基準値 (2014 年度)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 誘致企業数 (累計)</td><td>【2015～2018】 3 社</td><td><u>7</u> 社</td><td>—</td></tr> </tbody> </table> （２）農業 10 年ビジョン推進プロジェクト ≪プロジェクト内容≫ ◆ 当別町の基幹産業である農業については、2015 年（平成 27 年）3 月に策定した「当別町農業 10 年ビジョン」に基づき、大都市に隣接している地の利を活かし、守備範囲の広い農業生産を展開している強みを武器にした産地経営の確立により、多くの人達（後継者、新規参入者、就業者、消費者、観光客など）をひきつける成長産業化を目指します。そのため、土地利用型	指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2026</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)	① 誘致企業数 (累計)	【2015～2018】 3 社	<u>7</u> 社	—	戦略プランⅠ：産業力の強化 ～しごとの創生～ （１）企業誘致推進プロジェクト （省略） ≪今後の事業展開≫ ■企業誘致に向けた都市計画の指定等を含めた土地利用の見直し ■企業誘致に向けたインフラの整備 ■地域再生法に基づく地方拠点強化税制の活用 ■地域未来投資促進法に基づく「北海道当別町基本計画」の推進 ■企業立地促進条例に基づく優遇制度を活用した企業誘致の推進 および既存企業への支援強化 ■テレワーク等による事業所誘致の推進 ■当別町・商工会・農協・金融機関が連携した「当別町企業誘致推進協議会」による誘致活動の促進 ■市街地への商業施設の集積等による都市機能のレベルアップ ≪重要業績評価指標（K P I）≫ <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th><th>基準値 (2018 年度)</th><th>戦略目標 (<u>2024</u> 年度)</th><th>参考：第 1 期基準値 (2014 年度)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 誘致企業数 (累計)</td><td>【2015～2018】 3 社</td><td><u>6</u> 社</td><td>—</td></tr> </tbody> </table> （２）農業 10 年ビジョン推進プロジェクト ≪プロジェクト内容≫ ◆ 当別町の基幹産業である農業については、2015 年（平成 27 年）3 月に策定した「当別町農業 10 年ビジョン」に基づき、大都市に隣接している地の利を活かし、守備範囲の広い農業生産を展開している強みを武器にした産地経営の確立により、多くの人達（後継者、新規参入者、就業者、消費者、観光客など）をひきつける成長産業化を目指します。そのため、土地利用型	指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2024</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)	① 誘致企業数 (累計)	【2015～2018】 3 社	<u>6</u> 社	—	■GX・DX 人材育成のまちづくりを推進するため追加 ■跡地利用について取り組みを推進するため追加 ■文言整理 ①戦略目標を達成したため上方修正 (R5 実績 6 社)
指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2026</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)																
① 誘致企業数 (累計)	【2015～2018】 3 社	<u>7</u> 社	—																
指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2024</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)																
① 誘致企業数 (累計)	【2015～2018】 3 社	<u>6</u> 社	—																
p.40																			

項目・ページ	【改正後】	【改正前】	備考																
(続き) p.40	作物の低コスト化・省力化、高収益作物である野菜・花卉の生産拡大、多様な人材の獲得・育成による生産体制の強化を図るとともに、高付加価値化を目指し農産物の加工、ブランド化、販路拡大を強力に進めます。 (省略) ≪今後の事業展開≫ ■ 当別町農業総合支援センターの運営支援 ■ 農地バンクの事業展開支援、人・農地プランの実質化 ■ 高収益作物である野菜・花卉の生産拡大 ■ 農地の集約や大区画化、汎用化など生産性向上の推進 ■ ドローン・IoT 等を活用した農作業の効率化・省力化を始めとした農業 DX の推進 ■ 労力集約対策（法人化推進、農作業委託、パート派遣対策など） ■ 新規就農者確保・育成対策への支援 ■ 農産物など直売の取り組み強化、加工品の地域ブランド化、農泊等の推進 ■ 再生可能エネルギーを活用した農業生産体制の検討 ■ 災害に強い農業基盤整備の推進 ■ 地産地消の推進 ■ 6次産業化の推進 ≪重要業績評価指標（K P I）≫ <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th><th>基準値 (2018 年度)</th><th>戦略目標 (<u>2026</u> 年度)</th><th>参考：第 1 期基準値 (2014 年度)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 農業産出額 (年間)</td><td>74 億円</td><td>100 億円</td><td>78 億円</td></tr> </tbody> </table>	指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2026</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)	① 農業産出額 (年間)	74 億円	100 億円	78 億円	作物の低コスト化・省力化、高収益作物である野菜・花卉の生産拡大、多様な人材の獲得・育成による生産体制の強化を図るとともに、高付加価値化を目指し<u>2次産業化</u>、ブランド化、販路拡大を強力に進めます。 (省略) ≪今後の事業展開≫ ■ 当別町農業総合支援センターの運営支援 ■ 農地バンクの事業展開支援、人・農地プランの実質化 ■ 高収益作物である野菜・花卉の生産拡大 ■ 農地の集約や大区画化、汎用化など生産性向上の推進 ■ ドローン・IoT 等を活用した<u>スマート農業による</u>農作業の効率化・省力化の推進 ■ 労力集約対策（法人化推進、農作業委託、パート派遣対策など） ■ 新規就農者確保・育成対策への支援 ■ 農産物など直売の取り組み強化、加工品の地域ブランド化、農泊等の推進 ■ 再生可能エネルギーを活用した農業生産体制の検討 ■ 災害に強い農業基盤整備の推進 ■ 地産地消の推進 ≪重要業績評価指標（K P I）≫ <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th><th>基準値 (2018 年度)</th><th>戦略目標 (<u>2024</u> 年度)</th><th>参考：第 1 期基準値 (2014 年度)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 農業産出額 (年間)</td><td>74 億円</td><td>100 億円</td><td>78 億円</td></tr> </tbody> </table>	指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2024</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)	① 農業産出額 (年間)	74 億円	100 億円	78 億円	■文言整理 ■農業全体のデジタル化を推進するため修正 ■6次産業化の更なる推進を図るため追加
指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2026</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)																
① 農業産出額 (年間)	74 億円	100 億円	78 億円																
指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2024</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)																
① 農業産出額 (年間)	74 億円	100 億円	78 億円																

項目・ページ	【改正後】	【改正前】	備考																																
p.41	(3) 林業振興によるエネルギーの地域循環プロジェクト (省略) ≪重要業績評価指標 (K P I) ≫ <table><tr><th>指標名</th><th>基準値 (2018 年度)</th><th>戦略目標 (2026 年度)</th><th>参考：第 1 期基準値 (2014 年度)</th></tr><tr><td>① (省略)</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>② (省略)</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>③ (省略)</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (2026 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)	① (省略)				② (省略)				③ (省略)				(3) 林業振興によるエネルギーの地域循環プロジェクト (省略) ≪重要業績評価指標 (K P I) ≫ <table><tr><th>指標名</th><th>基準値 (2018 年度)</th><th>戦略目標 (2024 年度)</th><th>参考：第 1 期基準値 (2014 年度)</th></tr><tr><td>① (省略)</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>② (省略)</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>③ (省略)</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (2024 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)	① (省略)				② (省略)				③ (省略)				
指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (2026 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)																																
① (省略)																																			
② (省略)																																			
③ (省略)																																			
指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (2024 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)																																
① (省略)																																			
② (省略)																																			
③ (省略)																																			
p.42	(4) 再生可能エネルギー利用プロジェクト (省略) ≪今後の事業展開≫ ■農業や観光など他分野との連携によるエネルギー事業の展開 ■自立分散型のエネルギー活用体制の構築 ■エネルギーの「見える化」システムの導入 ■廃棄物系バイオマス等の未利用資源の活用検討 ■道路照明・施設等の LED 化 ■水素など次世代エネルギーの活用検討 ■「<u>当別町地球温暖化対策推進実行計画（区域施策編）</u>」の策定と <u>推進</u> ■「<u>当別町ゼロカーボン推進計画</u>」の策定と推進 ■「<u>当別町再生可能エネルギー設備導入推進事業</u>」の推進	(4) 再生可能エネルギー利用プロジェクト (省略) ≪今後の事業展開≫ ■農業や観光など他分野との連携によるエネルギー事業の展開 ■自立分散型のエネルギー活用体制の構築 ■エネルギーの「見える化」システムの導入 ■廃棄物系バイオマス等の未利用資源の活用検討 ■道路照明・施設等の LED 化 ■水素など次世代エネルギーの活用検討	■新たに事業化 されたことから 追加																																

項目・ページ	【改正後】	【改正前】	備考																																
(続き) p.42	≪重要業績評価指標（K P I）≫ <table><tr><th>指標名</th><th>基準値 (2018 年度)</th><th>戦略目標 (<u>2026</u> 年度)</th><th>参考：第 1 期基準値 (2014 年度)</th></tr><tr><td>①（省略）</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>②再生可能エネルギー設備導入 公共施設数（累計）</td><td>【2015～2018】 6 施設</td><td>【2015～<u>2026</u>】 <u>14</u> 施設</td><td>—</td></tr><tr><td>③町内会街路灯 の LED 化率</td><td>54.8 %</td><td><u>100.0</u> %</td><td>8.0 %</td></tr></table>	指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2026</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)	①（省略）				②再生可能エネルギー設備導入 公共施設数（累計）	【2015～2018】 6 施設	【2015～ <u>2026</u> 】 <u>14</u> 施設	—	③町内会街路灯 の LED 化率	54.8 %	<u>100.0</u> %	8.0 %	≪重要業績評価指標（K P I）≫ <table><tr><th>指標名</th><th>基準値 (2018 年度)</th><th>戦略目標 (<u>2024</u> 年度)</th><th>参考：第 1 期基準値 (2014 年度)</th></tr><tr><td>①（省略）</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>②再生可能エネルギー設備導入 公共施設数（累計）</td><td>【2015～2018】 6 施設</td><td>【2015～<u>2024</u>】 <u>12</u> 施設</td><td>—</td></tr><tr><td>③町内会街路灯 の LED 化率</td><td>54.8 %</td><td><u>90.0</u> %</td><td>8.0 %</td></tr></table>	指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2024</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)	①（省略）				②再生可能エネルギー設備導入 公共施設数（累計）	【2015～2018】 6 施設	【2015～ <u>2024</u> 】 <u>12</u> 施設	—	③町内会街路灯 の LED 化率	54.8 %	<u>90.0</u> %	8.0 %	②・③戦略目標を達成したため 上方修正 （R5 実績②14 施設③94.9%）
	指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2026</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)																															
	①（省略）																																		
②再生可能エネルギー設備導入 公共施設数（累計）	【2015～2018】 6 施設	【2015～ <u>2026</u> 】 <u>14</u> 施設	—																																
③町内会街路灯 の LED 化率	54.8 %	<u>100.0</u> %	8.0 %																																
指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2024</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)																																
①（省略）																																			
②再生可能エネルギー設備導入 公共施設数（累計）	【2015～2018】 6 施設	【2015～ <u>2024</u> 】 <u>12</u> 施設	—																																
③町内会街路灯 の LED 化率	54.8 %	<u>90.0</u> %	8.0 %																																
p.43	（５）道の駅プロジェクト （省略） ≪重要業績評価指標（K P I）≫ <table><tr><th>指標名</th><th>基準値 (2018 年度)</th><th>戦略目標 (<u>2026</u> 年度)</th><th>参考：第 1 期基準値 (2014 年度)</th></tr><tr><td>①道の駅利用者 数（年間）</td><td>76 万人</td><td><u>130</u> 万人</td><td>—</td></tr></table>	指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2026</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)	①道の駅利用者 数（年間）	76 万人	<u>130</u> 万人	—	（５）道の駅プロジェクト （省略） ≪重要業績評価指標（K P I）≫ <table><tr><th>指標名</th><th>基準値 (2018 年度)</th><th>戦略目標 (<u>2024</u> 年度)</th><th>参考：第 1 期基準値 (2014 年度)</th></tr><tr><td>①道の駅利用者 数（年間）</td><td>76 万人</td><td><u>100</u> 万人</td><td>—</td></tr></table>	指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2024</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)	①道の駅利用者 数（年間）	76 万人	<u>100</u> 万人	—	①戦略目標が達成することが見 込まれるため上 方修正 （R5 実績 99.9 万人）																
指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2026</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)																																
①道の駅利用者 数（年間）	76 万人	<u>130</u> 万人	—																																
指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2024</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)																																
①道の駅利用者 数（年間）	76 万人	<u>100</u> 万人	—																																
p.44	（６）商工業活性化プロジェクト （省略） ≪今後の事業展開≫ ■新たなビジネス展開への支援の拡充 ■地域内資金循環の仕組み（ <u>とうべつ EZOCA</u> ）の構築と <u>推進</u> ■商工会等と連携した「当別町創業支援等事業計画」に基づく各種創業支援の実施 ■地域未来投資促進法に基づく「北海道当別町基本計画」の推進 【再掲：Ⅰ－(1)】 ■観光業・配送業等におけるドローンの活用 ■キャッシュレス決済サービスの促進 ■ <u>北海道医療大学の移転に伴う民間賃貸住宅及び商工業関連対策の実施</u>	（６）商工業活性化プロジェクト （省略） ≪今後の事業展開≫ ■新たなビジネス展開への支援の拡充 ■地域内資金循環の仕組み_____の構築_____ ■商工会等と連携した「当別町創業支援等事業計画」に基づく各種創業支援の実施 ■地域未来投資促進法に基づく「北海道当別町基本計画」の推進 【再掲：Ⅰ－(1)】 ■観光業・配送業等におけるドローンの活用 ■キャッシュレス決済サービスの促進	■新たな地域ポ イントカードと したとうべつ EZOCA の導入 に伴う文言の修 正 ■医療大移転対 策として追加																																

①戦略目標が達成することが見込まれるため上方修正
(R5 実績 99.9 万人)

■新たな地域ポイントカードとしたとうべつ EZOCA の導入に伴う文言の修正

■医療大移転対策として追加

項目・ページ	【改正後】	【改正前】	備考																																																
(続き) p.44	≪重要業績評価指標（K P I）≫ <table> <tr> <th>指標名</th><th>基準値 (2018 年度)</th><th>戦略目標 (<u>2026</u> 年度)</th><th>参考：第 1 期基準値 (2014 年度)</th></tr> <tr> <td>① (省略)</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>② (省略)</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>③新規雇用創出 数 (累計)</td><td>【2015～2018】 52 人</td><td>【2015～<u>2026</u>】 <u>148</u> 人</td><td>—</td></tr> </table>	指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2026</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)	① (省略)				② (省略)				③新規雇用創出 数 (累計)	【2015～2018】 52 人	【2015～ <u>2026</u> 】 <u>148</u> 人	—	≪重要業績評価指標（K P I）≫ <table> <tr> <th>指標名</th><th>基準値 (2018 年度)</th><th>戦略目標 (<u>2024</u> 年度)</th><th>参考：第 1 期基準値 (2014 年度)</th></tr> <tr> <td>① (省略)</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>② (省略)</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>③新規雇用創出 数 (累計)</td><td>【2015～2018】 52 人</td><td>【2015～<u>2024</u>】 <u>100</u> 人</td><td>—</td></tr> </table>	指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2024</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)	① (省略)				② (省略)				③新規雇用創出 数 (累計)	【2015～2018】 52 人	【2015～ <u>2024</u> 】 <u>100</u> 人	—	③戦略目標を達成したため上方修正 (R5 実績 130 人)																
指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2026</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)																																																
① (省略)																																																			
② (省略)																																																			
③新規雇用創出 数 (累計)	【2015～2018】 52 人	【2015～ <u>2026</u> 】 <u>148</u> 人	—																																																
指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2024</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)																																																
① (省略)																																																			
② (省略)																																																			
③新規雇用創出 数 (累計)	【2015～2018】 52 人	【2015～ <u>2024</u> 】 <u>100</u> 人	—																																																
p.45 p.46	戦略プランⅡ：人を呼び込むまちの再生 ～魅力の創生～ (1) 新しいまちの顔づくりプロジェクト (省略) ≪重要業績評価指標（K P I）≫ <table> <tr> <th>指標名</th><th>基準値 (2018 年度)</th><th>戦略目標 (<u>2026</u> 年度)</th><th>参考：第 1 期基準値 (2014 年度)</th></tr> <tr> <td>① 社会増減数 (累計)</td><td>【2014～2018】 △897 人</td><td>【2020～<u>2026</u>】 <u>+910</u> 人</td><td>—</td></tr> </table> (2) 駅周辺再開発プロジェクト (省略) ≪重要業績評価指標（K P I）≫ <table> <tr> <th>指標名</th><th>基準値 (2018 年度)</th><th>戦略目標 (<u>2026</u> 年度)</th><th>参考：第 1 期基準値 (2014 年度)</th></tr> <tr> <td>①駅周辺における新たな集合住宅の整備 (累計)</td><td>— 戸</td><td>【2020～<u>2026</u>】 150 戸</td><td>—</td></tr> <tr> <td>②新しい分譲区画数 (累計)</td><td>— 区画</td><td>【2020～<u>2026</u>】 225 区画</td><td>—</td></tr> <tr> <td>③ (省略)</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2026</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)	① 社会増減数 (累計)	【2014～2018】 △897 人	【2020～ <u>2026</u> 】 <u>+910</u> 人	—	指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2026</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)	①駅周辺における新たな集合住宅の整備 (累計)	— 戸	【2020～ <u>2026</u> 】 150 戸	—	②新しい分譲区画数 (累計)	— 区画	【2020～ <u>2026</u> 】 225 区画	—	③ (省略)				戦略プランⅡ：人を呼び込むまちの再生 ～魅力の創生～ (1) 新しいまちの顔づくりプロジェクト (省略) ≪重要業績評価指標（K P I）≫ <table> <tr> <th>指標名</th><th>基準値 (2018 年度)</th><th>戦略目標 (<u>2024</u> 年度)</th><th>参考：第 1 期基準値 (2014 年度)</th></tr> <tr> <td>① 社会増減数 (累計)</td><td>【2014～2018】 △897 人</td><td>【2020～<u>2024</u>】 <u>+650</u> 人</td><td>—</td></tr> </table> (2) 駅周辺再開発プロジェクト (省略) ≪重要業績評価指標（K P I）≫ <table> <tr> <th>指標名</th><th>基準値 (2018 年度)</th><th>戦略目標 (<u>2024</u> 年度)</th><th>参考：第 1 期基準値 (2014 年度)</th></tr> <tr> <td>①駅周辺における新たな集合住宅の整備 (累計)</td><td>— 戸</td><td>【2020～<u>2024</u>】 150 戸</td><td>—</td></tr> <tr> <td>②新しい分譲区画数 (累計)</td><td>— 区画</td><td>【2020～<u>2024</u>】 225 区画</td><td>—</td></tr> <tr> <td>③ (省略)</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2024</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)	① 社会増減数 (累計)	【2014～2018】 △897 人	【2020～ <u>2024</u> 】 <u>+650</u> 人	—	指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2024</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)	①駅周辺における新たな集合住宅の整備 (累計)	— 戸	【2020～ <u>2024</u> 】 150 戸	—	②新しい分譲区画数 (累計)	— 区画	【2020～ <u>2024</u> 】 225 区画	—	③ (省略)				①戦略期間の延長に伴う修正 (R5 実績 177 人)
指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2026</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)																																																
① 社会増減数 (累計)	【2014～2018】 △897 人	【2020～ <u>2026</u> 】 <u>+910</u> 人	—																																																
指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2026</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)																																																
①駅周辺における新たな集合住宅の整備 (累計)	— 戸	【2020～ <u>2026</u> 】 150 戸	—																																																
②新しい分譲区画数 (累計)	— 区画	【2020～ <u>2026</u> 】 225 区画	—																																																
③ (省略)																																																			
指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2024</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)																																																
① 社会増減数 (累計)	【2014～2018】 △897 人	【2020～ <u>2024</u> 】 <u>+650</u> 人	—																																																
指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2024</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)																																																
①駅周辺における新たな集合住宅の整備 (累計)	— 戸	【2020～ <u>2024</u> 】 150 戸	—																																																
②新しい分譲区画数 (累計)	— 区画	【2020～ <u>2024</u> 】 225 区画	—																																																
③ (省略)																																																			

項目・ページ

p.47

【改正後】

(3) 移住促進プロジェクト
《プロジェクト内容》

◆移住促進に向けては雇用環境の有無が移住の大きな要因となっていることから、企業誘致等による雇用創出施策との連携を図ります。

◆「地方創生移住支援事業」などといった制度を活用し、特に首都圏等からの移住を後押しします。

◆当別町での短期移住体験ができる「おためし暮らし事業」を定住につなげていくため、観光施策と連携した滞在型観光の推進によって当別町の魅力を直接体感できる事業の取り組みを進め、そこから二地域居住、最終的には完全移住へとつなげていくことが可能となるような事業展開を図ります。また、子育て世帯の移住者増加に向けて、夏休みや冬休みといった長期休暇中や土・日を利用した旅行感覚での滞在プランなど、利用しやすいメニューの構築に向けて検討を進めます。

◆ふるさと納税や観光・景観・食など当別町の魅力を積極的にPRし、当別町のファンを増やすことによる関係人口の拡大を図り、移住促進につなげます。

◆空き家・空き部屋等の活用方法について、関係団体と具体的な取り組みを検討します。

(省略)

《重要業績評価指標（KPI）》

指標名	基準値 (2018年度)	戦略目標 (<u>2026</u> 年度)	参考：第1期基準値 (2014年度)
①(省略)			
②(省略)			
③ <u>地方創生移住支援事業</u> 申請件数(累計)	— 件	【2020～<u>2026</u>】 5 件	—

【改正前】

(3) 移住促進プロジェクト
《プロジェクト内容》

◆移住促進に向けては雇用環境の有無が移住の大きな要因となっていることから、企業誘致等による雇用創出施策との連携を図ります。

◆「わくわく地方生活実現政策パッケージ」などといった制度を活用し、特に首都圏等からの移住を後押しします。

◆当別町での短期移住体験ができる「おためし暮らし事業」を定住につなげていくため、観光施策と連携した滞在型観光の推進によって当別町の魅力を直接体感できる事業の取り組みを進め、そこから二地域居住、最終的には完全移住へとつなげていくことが可能となるような事業展開を図ります。また、子育て世帯の移住者増加に向けて、夏休みや冬休みといった長期休暇中や土・日を利用した旅行感覚での滞在プランなど、利用しやすいメニューの構築に向けて検討を進めます。

◆ふるさと納税や観光・景観・食など当別町の魅力を積極的にPRし、当別町のファンを増やすことによる関係人口の拡大を図り、移住促進につなげます。

◆空き家・空き部屋等の活用方法について、関係団体と具体的な取り組みを検討します。

(省略)

《重要業績評価指標（KPI）》

指標名	基準値 (2018年度)	戦略目標 (<u>2024</u> 年度)	参考：第1期基準値 (2014年度)
①(省略)			
②(省略)			
③ <u>わくわく地方生活実現政策パッケージ事業</u> 申請件数(累計)	— 件	【2020～<u>2024</u>】 5 件	—

◆国の支援策と同じ事業名に修正

③国の支援策と同じ事業名に修正

項目・ページ	【改正後】	【改正前】	備考																								
p.48	（４）公共交通活性化プロジェクト （省略） ≪今後の事業展開≫ ■より利便性の高いコミュニティバスおよびデマンド型交通の拡充 ■モビリティ・マネジメントの実施 ■当別版 MaaS の実装 ■JR 札沼線快速化・増便等の要望および廃止区間における代替交通の確保 ■「太美駅」のバリアフリー化の推進 ■「北海道医療大学駅」のバスターミナル化の推進 ■自動運転バスの実証運行【再掲：Ⅱ－(1)】 ■キャッシュレス決済サービスの導入 ■<u>公共交通運転手確保に向けた支援</u> ■<u>北海道医療大学の移転に伴う公共交通体制の再構築に向けた検討</u> ≪重要業績評価指標（K P I）≫ <table> <tr> <th>指標名</th><th>基準値 (2018 年度)</th><th>戦略目標 (<u>2026</u> 年度)</th><th>参考：第 1 期基準値 (2014 年度)</th></tr> <tr> <td>①（省略）</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>②（省略）</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2026</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)	①（省略）				②（省略）				（４）公共交通活性化プロジェクト （省略） ≪今後の事業展開≫ ■より利便性の高いコミュニティバスおよびデマンド型交通の拡充 ■モビリティ・マネジメントの実施 ■当別版 MaaS の実装 ■JR 札沼線快速化・増便等の要望および廃止区間における代替交通の確保 ■「太美駅」のバリアフリー化の推進 ■「北海道医療大学駅」のバスターミナル化の推進 ■自動運転バスの実証運行【再掲：Ⅱ－(1)】 ■キャッシュレス決済サービスの導入 _____ _____ _____ ≪重要業績評価指標（K P I）≫ <table> <tr> <th>指標名</th><th>基準値 (2018 年度)</th><th>戦略目標 (<u>2024</u> 年度)</th><th>参考：第 1 期基準値 (2014 年度)</th></tr> <tr> <td>①（省略）</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>②（省略）</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2024</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)	①（省略）				②（省略）				■運転手不足対策として追加 ■医療大移転後の公共交通の再構築について追加
指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2026</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)																								
①（省略）																											
②（省略）																											
指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2024</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)																								
①（省略）																											
②（省略）																											
p.49	（５）観光資源の活用・創出プロジェクト （省略） ≪重要業績評価指標（K P I）≫ <table> <tr> <th>指標名</th><th>基準値 (2018 年度)</th><th>戦略目標 (<u>2026</u> 年度)</th><th>参考：第 1 期基準値 (2014 年度)</th></tr> <tr> <td>①観光入込客数 (年間)</td><td>117.4 万人</td><td><u>180.0</u> 万人</td><td>42.3 万人</td></tr> <tr> <td>②（省略）</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2026</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)	①観光入込客数 (年間)	117.4 万人	<u>180.0</u> 万人	42.3 万人	②（省略）				（５）観光資源の活用・創出プロジェクト （省略） ≪重要業績評価指標（K P I）≫ <table> <tr> <th>指標名</th><th>基準値 (2018 年度)</th><th>戦略目標 (<u>2024</u> 年度)</th><th>参考：第 1 期基準値 (2014 年度)</th></tr> <tr> <td>①観光入込客数 (年間)</td><td>117.4 万人</td><td><u>150.0</u> 万人</td><td>42.3 万人</td></tr> <tr> <td>②（省略）</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2024</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)	①観光入込客数 (年間)	117.4 万人	<u>150.0</u> 万人	42.3 万人	②（省略）				①戦略目標を達成したため上方修正 (R5 実績 162.5 万人)
指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2026</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)																								
①観光入込客数 (年間)	117.4 万人	<u>180.0</u> 万人	42.3 万人																								
②（省略）																											
指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2024</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)																								
①観光入込客数 (年間)	117.4 万人	<u>150.0</u> 万人	42.3 万人																								
②（省略）																											

項目・ページ	【改正後】	【改正前】	備考
p.50	戦略プランⅢ：未来を担う子どもの育成 ～ひとの創生～ （１）小中一貫教育推進プロジェクト 《プロジェクト内容》 ◆小中一貫教育で、次世代の義務教育のあり方など、未来志向の先導的な取り組みを推進し、学力の向上に努めます。 ◆「主体的・対話的で深い学び」に視点を置いた授業改善を中核とした質の高い教育を推進し、学力の向上を図ります。 ◆世界で活躍するためのツールとしての英語力を高めます。 ◆「知・徳・体」のバランスのとれた、自らの人生をデザインできる人材を育成します。 ◆家庭・地域と連携した学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を活かした教育の推進と、「社会に開かれた教育課程」の実現を図ります。 ◆「とうべつ未来学」を開設し、ふるさとへの愛着を持ち、国際社会で活躍できる人材の育成を図ります。 ◆日常生活や社会で必要となる、論理的に物事を思考する力（論理的思考力）や創造性・問題解決能力の育成を図る「プログラミング教育」と、これからのデジタル社会に適応した人材育成のための「STEAM 教育」による教科等横断的な学習に取り組みます。 ◆<u>子ども達が将来にわたってスポーツ・文化芸術活動に親しむことができる環境整備に取り組めます。</u> 《今後の事業展開》 ■小中一貫教育の教育的効果を最大限に発揮する一体型義務教育学校の開校 ■当別町独自の教育理念を持った小中一貫教育カリキュラムの作成 ■義務教育学校前期課程における一部教科担任制の導入に向けた検討	戦略プランⅢ：未来を担う子どもの育成 ～ひとの創生～ （１）小中一貫教育推進プロジェクト 《プロジェクト内容》 ◆小中一貫教育で、次世代の義務教育のあり方など、未来志向の先導的な取り組みを推進し、学力の向上に努めます。 ◆「主体的・対話的で深い学び」に視点を置いた授業改善を中核とした質の高い教育を推進し、学力の向上を図ります。 ◆世界で活躍するためのツールとしての英語力を高めます。 ◆「知・徳・体」のバランスのとれた、自らの人生をデザインできる人材を育成します。 ◆家庭・地域と連携した学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を活かした教育の推進と、「社会に開かれた教育課程」の実現を図ります。 ◆「とうべつ未来学」を開設し、ふるさとへの愛着を持ち、国際社会で活躍できる人材の育成を図ります。 ◆日常生活や社会で必要となる、論理的に物事を思考する力（論理的思考力）や創造性・問題解決能力の育成を図る「プログラミング教育」と、これからのデジタル社会に適応した人材育成のための「STEAM 教育」による教科等横断的な学習に取り組みます。 《今後の事業展開》 ■小中一貫教育の教育的効果を最大限に発揮する一体型義務教育学校の開校 ■当別町独自の教育理念を持った小中一貫教育カリキュラムの作成 ■義務教育学校前期課程における一部教科担任制の導入に向けた検討	◆学校部活動の地域移行による持続可能なスポーツ・文化芸術活動の環境整備に取り組むため追加

項目・ページ	【改正後】	【改正前】	備考																								
(続き) p.50	■国際教育・英語教育・ふるさと教育・キャリア教育・スポーツや芸術・科学分野の推進 ■学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を活用した、家庭・地域の願いを反映した学校づくり ■STEAM 教育の推進 ■ICT 教育の実施（デジタルリテラシー・モラル教育）■ICT 支援員の配置 ■プログラミング教室の開催 ■デジタル教材・機材の整備（教科書、AI ドリル、電子黒板等） ■学校部活動に代わる「地域クラブ活動」の推進 ≪重要業績評価指標（K P I）≫ <table><tr><th>指標名</th><th>基準値 (2018 年度)</th><th>戦略目標 (2026 年度)</th><th>参考：第 1 期基準値 (2014 年度)</th></tr><tr><td>①（省略）</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>②（省略）</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (2026 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)	①（省略）				②（省略）				■国際教育・英語教育・ふるさと教育・キャリア教育・スポーツや芸術・科学分野の推進 ■学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を活用した、家庭・地域の願いを反映した学校づくり ■STEAM 教育の推進 ■ICT 教育の実施（デジタルリテラシー・モラル教育）■ICT 支援員の配置 ■プログラミング教室の開催 ■デジタル教材・機材の整備（教科書、AI ドリル、電子黒板等） ≪重要業績評価指標（K P I）≫ <table><tr><th>指標名</th><th>基準値 (2018 年度)</th><th>戦略目標 (2024 年度)</th><th>参考：第 1 期基準値 (2014 年度)</th></tr><tr><td>①（省略）</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>②（省略）</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (2024 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)	①（省略）				②（省略）				■学校部活動の地域移行による持続可能なスポーツ・文化芸術活動の環境整備に取り組むため追加
指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (2026 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)																								
①（省略）																											
②（省略）																											
指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (2024 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)																								
①（省略）																											
②（省略）																											
p.51	(2) 子育て世帯応援プロジェクト (省略) ≪重要業績評価指標（K P I）≫ <table><tr><th>指標名</th><th>基準値 (2018 年度)</th><th>戦略目標 (2026 年度)</th><th>参考：第 1 期基準値 (2014 年度)</th></tr><tr><td>①（省略）</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>②ファミリー・サポート・センター登録会員数 (累計)</td><td>【～2018】 363 人</td><td>【～2026】 420 人</td><td>—</td></tr></table>	指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (2026 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)	①（省略）				②ファミリー・サポート・センター登録会員数 (累計)	【～2018】 363 人	【～2026】 420 人	—	(2) 子育て世帯応援プロジェクト (省略) ≪重要業績評価指標（K P I）≫ <table><tr><th>指標名</th><th>基準値 (2018 年度)</th><th>戦略目標 (2024 年度)</th><th>参考：第 1 期基準値 (2014 年度)</th></tr><tr><td>①（省略）</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>②ファミリー・サポート・センター登録会員数 (累計)</td><td>【～2018】 363 人</td><td>【～2024】 420 人</td><td>—</td></tr></table>	指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (2024 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)	①（省略）				②ファミリー・サポート・センター登録会員数 (累計)	【～2018】 363 人	【～2024】 420 人	—	
指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (2026 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)																								
①（省略）																											
②ファミリー・サポート・センター登録会員数 (累計)	【～2018】 363 人	【～2026】 420 人	—																								
指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (2024 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)																								
①（省略）																											
②ファミリー・サポート・センター登録会員数 (累計)	【～2018】 363 人	【～2024】 420 人	—																								

項目・ページ	【改正後】	【改正前】	備考																
p.52	（３）日本体育大学連携プロジェクト （省略） 《重要業績評価指標（ＫＰＩ）》 <table> <tr> <th>指標名</th><th>基準値 (2018 年度)</th><th>戦略目標 (<u>2026</u> 年度)</th><th>参考：第 1 期基準値 (2014 年度)</th></tr> <tr> <td>①トップアスリート育成人数 (累計)</td><td>— 人</td><td>【2019～<u>2026</u>】 <u>50</u> 人</td><td>—</td></tr> </table>	指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2026</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)	①トップアスリート育成人数 (累計)	— 人	【2019～ <u>2026</u> 】 <u>50</u> 人	—	（３）日本体育大学連携プロジェクト （省略） 《重要業績評価指標（ＫＰＩ）》 <table> <tr> <th>指標名</th><th>基準値 (2018 年度)</th><th>戦略目標 (<u>2024</u> 年度)</th><th>参考：第 1 期基準値 (2014 年度)</th></tr> <tr> <td>①トップアスリート育成人数 (累計)</td><td>— 人</td><td>【2019～<u>2024</u>】 <u>25</u> 人</td><td>—</td></tr> </table>	指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2024</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)	①トップアスリート育成人数 (累計)	— 人	【2019～ <u>2024</u> 】 <u>25</u> 人	—	①コロナ５類移行後、事業が再開されたため上方修正 (R5 実績 11 人)
指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2026</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)																
①トップアスリート育成人数 (累計)	— 人	【2019～ <u>2026</u> 】 <u>50</u> 人	—																
指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2024</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)																
①トップアスリート育成人数 (累計)	— 人	【2019～ <u>2024</u> 】 <u>25</u> 人	—																
p.53	戦略プランⅣ：住み続けたいまちの形成 ～まちの創生～ （１）災害に強いまちづくりプロジェクト （省略） 《今後の事業展開》 ■防災訓練や防災学習の充実 ■最適な ICT など、多様な情報環境を活用した災害時等における迅速な情報伝達手段拡充の検討 ■防災拠点となる役場庁舎建て替えの検討 ■除排雪事業の充実に向けた検討 ○再生可能エネルギーを活用した除排雪対策の検討 ○各家庭への除排雪支援制度（融雪槽の設置補助など）の検討 <u>OGPS を活用した効率的な除排雪体制の構築</u> ■気象観測及び河川情報監視システムの導入とデータの活用、緊急情報の発信	戦略プランⅣ：住み続けたいまちの形成 ～まちの創生～ （１）災害に強いまちづくりプロジェクト （省略） 《今後の事業展開》 ■防災訓練や防災学習の充実 ■最適な ICT など、多様な情報環境を活用した災害時等における迅速な情報伝達手段拡充の検討 ■防災拠点となる役場庁舎建て替えの検討 ■除排雪事業の充実に向けた検討 ○再生可能エネルギーを活用した除排雪対策の検討 ○各家庭への除排雪支援制度（融雪槽の設置補助など）の検討 ■気象観測及び河川情報監視システムの導入とデータの活用、緊急情報の発信	○新たな除雪体制の充実を図るため追加																

項目・ページ	【改正後】	【改正前】	備考																																
(続き) p.53	≪重要業績評価指標（K P I）≫ <table> <tr> <th>指標名</th><th>基準値 (2018 年度)</th><th>戦略目標 (<u>2026</u> 年度)</th><th>参考：第 1 期基準値 (2014 年度)</th></tr> <tr> <td>①（省略）</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>②災害等情報伝達手段（メール・アプリ）の登録件数（累計）</td><td>【～2018】 600 件</td><td>【～<u>2026</u>】 <u>5,500</u> 件</td><td>—</td></tr> <tr> <td>③除排雪に関する苦情件数（年間）</td><td>279 件</td><td><u>100</u> 件以下</td><td>—</td></tr> </table>	指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2026</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)	①（省略）				②災害等情報伝達手段（メール・アプリ）の登録件数（累計）	【～2018】 600 件	【～ <u>2026</u> 】 <u>5,500</u> 件	—	③除排雪に関する苦情件数（年間）	279 件	<u>100</u> 件以下	—	≪重要業績評価指標（K P I）≫ <table> <tr> <th>指標名</th><th>基準値 (2018 年度)</th><th>戦略目標 (<u>2024</u> 年度)</th><th>参考：第 1 期基準値 (2014 年度)</th></tr> <tr> <td>①（省略）</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>②災害等情報伝達手段（メール・アプリ）の登録件数（累計）</td><td>【～2018】 600 件</td><td>【～<u>2024</u>】 <u>5,000</u> 件</td><td>—</td></tr> <tr> <td>③除排雪に関する苦情件数（年間）</td><td>279 件</td><td><u>200</u> 件以下</td><td>—</td></tr> </table>	指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2024</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)	①（省略）				②災害等情報伝達手段（メール・アプリ）の登録件数（累計）	【～2018】 600 件	【～ <u>2024</u> 】 <u>5,000</u> 件	—	③除排雪に関する苦情件数（年間）	279 件	<u>200</u> 件以下	—	②戦略目標を達成したため上方修正 (R5実績 5,220 件) ③戦略目標を達成したため上方修正 (R 5実績 107 件)
指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2026</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)																																
①（省略）																																			
②災害等情報伝達手段（メール・アプリ）の登録件数（累計）	【～2018】 600 件	【～ <u>2026</u> 】 <u>5,500</u> 件	—																																
③除排雪に関する苦情件数（年間）	279 件	<u>100</u> 件以下	—																																
指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2024</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)																																
①（省略）																																			
②災害等情報伝達手段（メール・アプリ）の登録件数（累計）	【～2018】 600 件	【～ <u>2024</u> 】 <u>5,000</u> 件	—																																
③除排雪に関する苦情件数（年間）	279 件	<u>200</u> 件以下	—																																
p.54	(2) 地域・在宅医療確保対策プロジェクト (省略) ≪今後の事業展開≫ ■医療施設の誘致 ■入院病床の代替となりうる介護施設の誘致 ■在宅医療・介護連携推進事業 ■初期救急医療業務委託 ■在宅当番医運営事業 ■初期救急医療受入事業 ■救急安心センターさっぽろへの参加 ■<u>介護人材確保に向けた支援の検討</u>	(2) 地域・在宅医療確保対策プロジェクト (省略) ≪今後の事業展開≫ ■医療施設の誘致 ■入院病床の代替となりうる介護施設の誘致 ■在宅医療・介護連携推進事業 ■初期救急医療業務委託 ■在宅当番医運営事業 ■初期救急医療受入事業 ■救急安心センターさっぽろへの参加	■介護人材不足対策として追加																																

項目・ページ	【改正後】	【改正前】	備考																																
(続き) p.54	≪重要業績評価指標（K P I）≫ <table> <tr> <th>指標名</th><th>基準値 (2018 年度)</th><th>戦略目標 (<u>2026</u> 年度)</th><th>参考：第 1 期基準値 (2014 年度)</th></tr> <tr> <td>①在宅療養支援 診療所数 (累計)</td><td>【～2018】 1 ケ所</td><td>【～<u>2026</u>】 2 ケ所</td><td>—</td></tr> <tr> <td>②障がい者の福 祉事業所就労者 数 (延べ) (年間)</td><td>— ケ所</td><td>【2020～<u>2026</u>】 1 ケ所</td><td>—</td></tr> <tr> <td>③入院病床の代 替となりうる介 護施設数 (累計)</td><td>— ケ所</td><td>【2020～<u>2026</u>】 1 ケ所</td><td>—</td></tr> </table>	指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2026</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)	①在宅療養支援 診療所数 (累計)	【～2018】 1 ケ所	【～ <u>2026</u> 】 2 ケ所	—	②障がい者の福 祉事業所就労者 数 (延べ) (年間)	— ケ所	【2020～ <u>2026</u> 】 1 ケ所	—	③入院病床の代 替となりうる介 護施設数 (累計)	— ケ所	【2020～ <u>2026</u> 】 1 ケ所	—	≪重要業績評価指標（K P I）≫ <table> <tr> <th>指標名</th><th>基準値 (2018 年度)</th><th>戦略目標 (<u>2024</u> 年度)</th><th>参考：第 1 期基準値 (2014 年度)</th></tr> <tr> <td>①在宅療養支援 診療所数 (累計)</td><td>【～2018】 1 ケ所</td><td>【～<u>2024</u>】 2 ケ所</td><td>—</td></tr> <tr> <td>②障がい者の福 祉事業所就労者 数 (延べ) (年間)</td><td>— ケ所</td><td>【2020～<u>2024</u>】 1 ケ所</td><td>—</td></tr> <tr> <td>③入院病床の代 替となりうる介 護施設数 (累計)</td><td>— ケ所</td><td>【2020～<u>2024</u>】 1 ケ所</td><td>—</td></tr> </table>	指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2024</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)	①在宅療養支援 診療所数 (累計)	【～2018】 1 ケ所	【～ <u>2024</u> 】 2 ケ所	—	②障がい者の福 祉事業所就労者 数 (延べ) (年間)	— ケ所	【2020～ <u>2024</u> 】 1 ケ所	—	③入院病床の代 替となりうる介 護施設数 (累計)	— ケ所	【2020～ <u>2024</u> 】 1 ケ所	—	
指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2026</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)																																
①在宅療養支援 診療所数 (累計)	【～2018】 1 ケ所	【～ <u>2026</u> 】 2 ケ所	—																																
②障がい者の福 祉事業所就労者 数 (延べ) (年間)	— ケ所	【2020～ <u>2026</u> 】 1 ケ所	—																																
③入院病床の代 替となりうる介 護施設数 (累計)	— ケ所	【2020～ <u>2026</u> 】 1 ケ所	—																																
指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2024</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)																																
①在宅療養支援 診療所数 (累計)	【～2018】 1 ケ所	【～ <u>2024</u> 】 2 ケ所	—																																
②障がい者の福 祉事業所就労者 数 (延べ) (年間)	— ケ所	【2020～ <u>2024</u> 】 1 ケ所	—																																
③入院病床の代 替となりうる介 護施設数 (累計)	— ケ所	【2020～ <u>2024</u> 】 1 ケ所	—																																
p.55	(3) 地域福祉推進プロジェクト (省略) ≪重要業績評価指標（K P I）≫ <table> <tr> <th>指標名</th><th>基準値 (2018 年度)</th><th>戦略目標 (<u>2026</u> 年度)</th><th>参考：第 1 期基準値 (2014 年度)</th></tr> <tr> <td>①共生型ボラン ティア養成講座 認定者数 (累計)</td><td>【～2018】 79 人</td><td>【～<u>2026</u>】 230 人</td><td>—</td></tr> <tr> <td>②障がい者の福 祉事業所就労者 数 (延べ) (年間)</td><td>35 件</td><td><u>100</u> 件</td><td>19 人</td></tr> </table>	指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2026</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)	①共生型ボラン ティア養成講座 認定者数 (累計)	【～2018】 79 人	【～ <u>2026</u> 】 230 人	—	②障がい者の福 祉事業所就労者 数 (延べ) (年間)	35 件	<u>100</u> 件	19 人	(3) 地域福祉推進プロジェクト (省略) ≪重要業績評価指標（K P I）≫ <table> <tr> <th>指標名</th><th>基準値 (2018 年度)</th><th>戦略目標 (<u>2024</u> 年度)</th><th>参考：第 1 期基準値 (2014 年度)</th></tr> <tr> <td>①共生型ボラン ティア養成講座 認定者数 (累計)</td><td>【～2018】 79 人</td><td>【～<u>2024</u>】 230 人</td><td>—</td></tr> <tr> <td>②障がい者の福 祉事業所就労者 数 (延べ) (年間)</td><td>35 件</td><td><u>60</u> 件</td><td>19 人</td></tr> </table>	指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2024</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)	①共生型ボラン ティア養成講座 認定者数 (累計)	【～2018】 79 人	【～ <u>2024</u> 】 230 人	—	②障がい者の福 祉事業所就労者 数 (延べ) (年間)	35 件	<u>60</u> 件	19 人	②戦略目標を達 成したため上方 修正 (R 5 実績 75 人)								
指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2026</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)																																
①共生型ボラン ティア養成講座 認定者数 (累計)	【～2018】 79 人	【～ <u>2026</u> 】 230 人	—																																
②障がい者の福 祉事業所就労者 数 (延べ) (年間)	35 件	<u>100</u> 件	19 人																																
指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2024</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)																																
①共生型ボラン ティア養成講座 認定者数 (累計)	【～2018】 79 人	【～ <u>2024</u> 】 230 人	—																																
②障がい者の福 祉事業所就労者 数 (延べ) (年間)	35 件	<u>60</u> 件	19 人																																

項目・ページ	【改正後】	【改正前】	備考
p.56	(4) 北海道医療大学連携プロジェクト 《プロジェクト内容》 ◆学生はまちづくりの重要な要素であり、学生がまちにいることは、多様な施設の利用による世代の交流や将来的な当別町への移住・定住の促進、関係人口の増加という観点からも、大切なことです。学生数が3,000名を超える北海道医療大学があるまちとして、学生の町内居住を促進するため、アルバイト先の確保やアパート組合と連携した学生向けの居住環境の整備や家賃の見直し、学習環境の整備といったインセンティブを創出します。また、学生が当別町の福祉施策やイベントに積極的に参加し、大学の単位認定に反映される仕組みづくりを検討します。 ◆北海道医療大学移転後の連携事業の在り方について検討します。 《今後の事業展開》 ■学生の町内居住に向けた取り組み ○新入生新生活応援事業の実施 ○学生アルバイト支援事業の実施 ○奨学金制度の検討 ■リハビリテーション科学部との連携による介護予防体操の普及 【再掲：Ⅳ－(3)】 ■各種計画策定や福祉事業等への大学教員および学生の参画 【再掲：Ⅳ－(3)】 ■学生の地域福祉活動に対する単位付与の検討【再掲：Ⅳ－(3)】 ■「むし歯ゼロプロジェクト」の実施【再掲：Ⅳ－(3)】 ■<u>北海道医療大学の移転に伴う連携事業の在り方の検討</u>	(4) 北海道医療大学連携プロジェクト 《プロジェクト内容》 ◆学生はまちづくりの重要な要素であり、学生がまちにいることは、多様な施設の利用による世代の交流や将来的な当別町への移住・定住の促進、関係人口の増加という観点からも、大切なことです。学生数が3,000名を超える北海道医療大学があるまちとして、学生の町内居住を促進するため、アルバイト先の確保やアパート組合と連携した学生向けの居住環境の整備や家賃の見直し、学習環境の整備といったインセンティブを創出します。また、学生が当別町の福祉施策やイベントに積極的に参加し、大学の単位認定に反映される仕組みづくりを検討します。 《今後の事業展開》 ■学生の町内居住に向けた取り組み ○新入生新生活応援事業の実施 ○学生アルバイト支援事業の実施 ○奨学金制度の検討 ■リハビリテーション科学部との連携による介護予防体操の普及 【再掲：Ⅳ－(3)】 ■各種計画策定や福祉事業等への大学教員および学生の参画 【再掲：Ⅳ－(3)】 ■学生の地域福祉活動に対する単位付与の検討【再掲：Ⅳ－(3)】 ■「むし歯ゼロプロジェクト」の実施【再掲：Ⅳ－(3)】	◆医療大移転後の連携事業について検討するため追加 ■医療大移転後の連携事業の在り方についての検討を追加

項目・ページ	【改正後】	【改正前】	備考																								
(続き) p.56	≪重要業績評価指標（K P I）≫ <table> <tr> <th>指標名</th><th>基準値 (2018 年度)</th><th>戦略目標 (<u>2026</u> 年度)</th><th>参考：第 1 期基準値 (2014 年度)</th></tr> <tr> <td>①<u>北海道医療大 学との連携事業 数</u>（年間）</td><td><u>47 事業</u></td><td><u>62 事業</u></td><td><u>—</u></td></tr> </table>	指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2026</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)	① <u>北海道医療大 学との連携事業 数</u> （年間）	<u>47 事業</u>	<u>62 事業</u>	<u>—</u>	≪重要業績評価指標（K P I）≫ <table> <tr> <th>指標名</th><th>基準値 (2018 年度)</th><th>戦略目標 (<u>2024</u> 年度)</th><th>参考：第 1 期基準値 (2014 年度)</th></tr> <tr> <td>①北海道医療大 学生の町内居住 者数（年間）</td><td><u>916 人</u></td><td><u>1,000 人</u></td><td><u>744 人</u></td></tr> </table>	指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2024</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)	①北海道医療大 学生の町内居住 者数（年間）	<u>916 人</u>	<u>1,000 人</u>	<u>744 人</u>	①町内居住学生 は減少するた め、新たな指標 として連携事業 数に変更								
指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2026</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)																								
① <u>北海道医療大 学との連携事業 数</u> （年間）	<u>47 事業</u>	<u>62 事業</u>	<u>—</u>																								
指標名	基準値 (2018 年度)	戦略目標 (<u>2024</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)																								
①北海道医療大 学生の町内居住 者数（年間）	<u>916 人</u>	<u>1,000 人</u>	<u>744 人</u>																								
p.57	戦略プランⅤ：デジタル基盤の構築 ～デジタル田園都市「Tobetsu”DIGI”town」の創造～ （１）総合戦略を進めるデジタル基盤構築プロジェクト （省略） ≪重要業績評価指標（K P I）≫ <table> <tr> <th>指標名</th><th>基準値 (2022 年度)</th><th>戦略目標 (<u>2026</u> 年度)</th><th>参考：第 1 期基準値 (2014 年度)</th></tr> <tr> <td>①自動化された 業務数（累計）</td><td>12 業務</td><td><u>50</u> 業務</td><td>—</td></tr> <tr> <td>②（省略）</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	指標名	基準値 (2022 年度)	戦略目標 (<u>2026</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)	①自動化された 業務数（累計）	12 業務	<u>50</u> 業務	—	②（省略）				戦略プランⅤ：デジタル基盤の構築 ～デジタル田園都市「Tobetsu”DIGI”town」の創造～ （１）総合戦略を進めるデジタル基盤構築プロジェクト （省略） ≪重要業績評価指標（K P I）≫ <table> <tr> <th>指標名</th><th>基準値 (2022 年度)</th><th>戦略目標 (<u>2024</u> 年度)</th><th>参考：第 1 期基準値 (2014 年度)</th></tr> <tr> <td>①自動化された 業務数（累計）</td><td>12 業務</td><td><u>30</u> 業務</td><td>—</td></tr> <tr> <td>②（省略）</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	指標名	基準値 (2022 年度)	戦略目標 (<u>2024</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)	①自動化された 業務数（累計）	12 業務	<u>30</u> 業務	—	②（省略）				①電子データの 処理業務が増加 することで、業 務の自動化が加 速するため上方 修正 （R 5 実績 25 業務）
指標名	基準値 (2022 年度)	戦略目標 (<u>2026</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)																								
①自動化された 業務数（累計）	12 業務	<u>50</u> 業務	—																								
②（省略）																											
指標名	基準値 (2022 年度)	戦略目標 (<u>2024</u> 年度)	参考：第 1 期基準値 (2014 年度)																								
①自動化された 業務数（累計）	12 業務	<u>30</u> 業務	—																								
②（省略）																											